

京都の伝統染織産業と学生のデザインプロジェクト

活動場所：上京区・中京区・東山区

活動時期：平成 29 年 5 月～

発表団体

京都女子大学 伝統をつなぐ会



連携メンバー

綴織技術保存会 奏絲綴苑

株式会社マドレー

山元染工場 テキスタイルブランド “ケイコロール”

活動内容

京都の染織産業は伝統型地場産業であり、そこには長い年月をかけて培ってきた世界に誇れる染織技術が存在する。日本固有の繊細な手織技術、時代を超えて受け継ぐ紋様・色彩を表現する染色技術は、今なお京都の職人に息づいている。なかでも、西陣織や友禅染は、現在、世界的にも注目されている。しかし一方で、生活者のライフスタイルの変化にともない和装産業が低迷傾向にあるなか、存続が危ぶまれる技術が多くなっているという現状がある。

そこで本プロジェクトでは、京都に今も続くさまざまな染織技術の存在を社会に周知させ、次世代を担う若い世代に染織文化を身近なものとして触れる機会を広くもたすことを目的とし、京都に学ぶ本学学生が中心となって、これらの染織技術を活かしつつ、現代のライフスタイルに合った服飾雑貨の商品企画の提案を行う。

取組の成果・活動で工夫した点

大学の授業の合間をぬって学生が、工房へ何うことになったとき、学生の受講状況が様々で調整が難しかった。また、地方学生の多い本学では、夏休みの帰省時期と活動時期の調整問題も生じたため、何度かに分けて訪問や、作業を個人レベルに分割して個人対応していただくなどの工夫をした。しかし、この問題は、工房の方の手間と情報の共有という点において検討を要する今後の課題である。

開発した作品のマーケティングを目的としてフリーマーケットに参加したが、波及効果としてモノづくりに取り組む多くの出店者たちとの交流が生まれ、学生も連携メンバーも、これまでにない学びを得ることができた。

連携メンバー・役割

綴織技術保存会 奏絲綴苑 (代表 平野喜久夫)	西陣織・本綴織の技術提供および商品企画監修
株式会社マドレー (代表 日比野 淳平)	「マドレー染」の復刻染色技術提供および商品企画監修
山元染工場 テキスタイルブランド “ケイコロール” (デザイナー 山元 桂子)	型友禅染の技術提供および商品企画監修

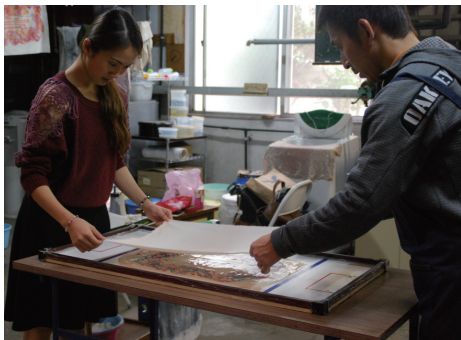
今後の課題・目標

◆今後の課題

長い年月をかけて培ってきた京都の染織技術の多くは、職人の手技術によって時間をかけて少量生産されたものであり、高級製品化の道筋を辿ってきた。今回の試みは、現代の衣生活への商品提案であり、大量生産と低価格化が進む服飾商品市場のなかで、いかに差別化を図った商品の提案をすることができるのかが課題点となった。ブライズゾーンについても同様に、染色技術の価値を落とすことなく商品として市場に認められる価格設定について模索を繰り返した。また、伝統技術職人と服飾を学ぶ学生がともに商品を考案する際には、技術に対する職人の考え方とアパレルの視点での感性の違いによる商品化への難航もあった。

◆目標

職人と学生が商品にかける思いを持って、互いの意見を尊重しつつ、市場に広く打ち出していくことのできる商品化に向かう関係づくりが大切だと考える。また、活動の歩みや成果について公表できる場を多く持つことにより、一般の方々にも興味を持っていただき、京都の伝統文化をはじめ和装文化全体の継承へとつなげたい。



関連 WEB サイト：綴織技術保存会 奏絲綴苑：<https://soushitsuzeen.com/>
株式会社マドレー：<http://mardley.jp/>
マドレー × 京都女子大学 インスタグラム：http://instagram.com/mardley_kwu
山元染工場：<http://yamamoto-some.jp/>